

~~~~~



文部大臣の奨励賞状もいただいているのです。大臣が大会に出席されたこともあるのですが、それは第二十三回目の大会のときでした。大臣の奨励賞状はこっちで書いたものを持って行って、それに大臣の判を

押ししてもらっているのですが、これはいつも仙台商業高校の書道の大家、同校速記部顧問、中根式速記協会副会長の安倍一男先生にお書きしていただいているのです。

全国大会は最初は男子だけでしたが、戦後、女子も参加させるようにしたのでした。最初の間は女子の参加は少なかったので、全体の成績順位のほか、女子だけの順位もきめて表彰していたのでした。しかし女子の参加が多くなったので、それをやめて今日にいたっているのです。

日本の野球が甲子園の高校野球から開かれているといつてよいように、日本の速記文化は高校生の全国競技大会から開かれるといつてよいと思うのです。一般に速記界といえは速記の専門家だけの世界ですが、私はそうは思いません。速記は専門